

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	04	男女共同参画社会の構築
施策	01	男女平等のための意識づくり

目的

男女共同参画社会の実現を目的として、講座等により啓発活動を充実させます。

対象・手段

区内在住、在勤、在学者、地域団体、事業者を対象とした講座等(シンポジウム、性と生の講座、エンパワーメント講座、パートナーシップ講座、講師派遣)を実施します。

施策の方向

男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、責任も分かち合い、ともにあらゆる分野に参画できるような意識の浸透を図ります。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
啓発事業参加者数		参加者数/16年度参加者の2割増		(平成19年度に16年度の2割増)	の水準達成	
啓発事業参加者の評価		アンケートの肯定回答数/全体回答数		(平成19年度に100%)	の水準達成	
				()	年度に	
				()	の水準達成	
施策の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	%	732.00	732.00	732.00	
	実績1	%	610.00	739.00	608.00	
	目標達成率1 = /	%	83.33	100.96	83.06	
	目標値2	%	100.00	100.00	100.00	
	実績2	%	87.60	92.20	88.20	
	目標達成率2 = /	%	87.60	92.20	88.20	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	総務部
-----	-----

主な取り組み

男女共同参画シンポジウム 1回 110人
 性と生の講座 3回 151人、エンパワーメント講座 4回128人
 パートナーシップ講座 3回 87人
 講師派遣 5回 132人

課題

今後も若い世代など新たな参加者を増やしていくため、常に社会情勢や区民ニーズの変化・多様化を捉えた事業を考え
 ていく必要があります。また、区民が男女共同参画についてより深く学ぶために、講座の企画・運営を区民との協働により
 行う機会を増やしていくことが必要です。

評価

総 合 評 価	
<p>本施策は、男女共同参画社会の構築に向け、啓発活動等を通して、男女平等のための意識作りを行うも のです。女性の社会進出が各分野で進むなど、社会全体の環境の変化ともあいまって一定の成果をあげて いるものと評価しています。しかし、一方では、未だ男性を優位とする意識も根強くみられる面もあるため、 今後とも地道に継続して男女平等に向けた意識づくりを進めていくことが必要です。</p> <p>意識啓発を目指した各種講座の効果を検証するために、講座開催時にはアンケートを実施し、次の講座 に役立てています。18年度は、シンポジウムの参加者が少なかったため参加者総数は減少しましたが、エ ンパワーメント講座の「セルフ・コーチング」や性と生の講座「見た目は不平等？」で、従来少なかった若い世 代が多く参加するなど目に見える成果があげられました。今後は企画段階からの区民との協働をより一層推 進し、区民ニーズを取り入れていく工夫をしていくことが必要です。</p>	B

今後の取り組み・改革の方針

シンポジウム及びパートナーシップ講座については従来から区民との協働により開催してきましたが、その他の講座にも
 区民による企画・運営を取り入れることで、社会情勢の変化や区民のニーズを反映させるとともに、区民が男女共同参画を
 より深く学ぶ機会を増やします。また、男女平等や男女共同参画の意識調査を行い、その結果を今後の事業に反映させて
 いきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
男女共同参画への啓発活動の充実	B	125		